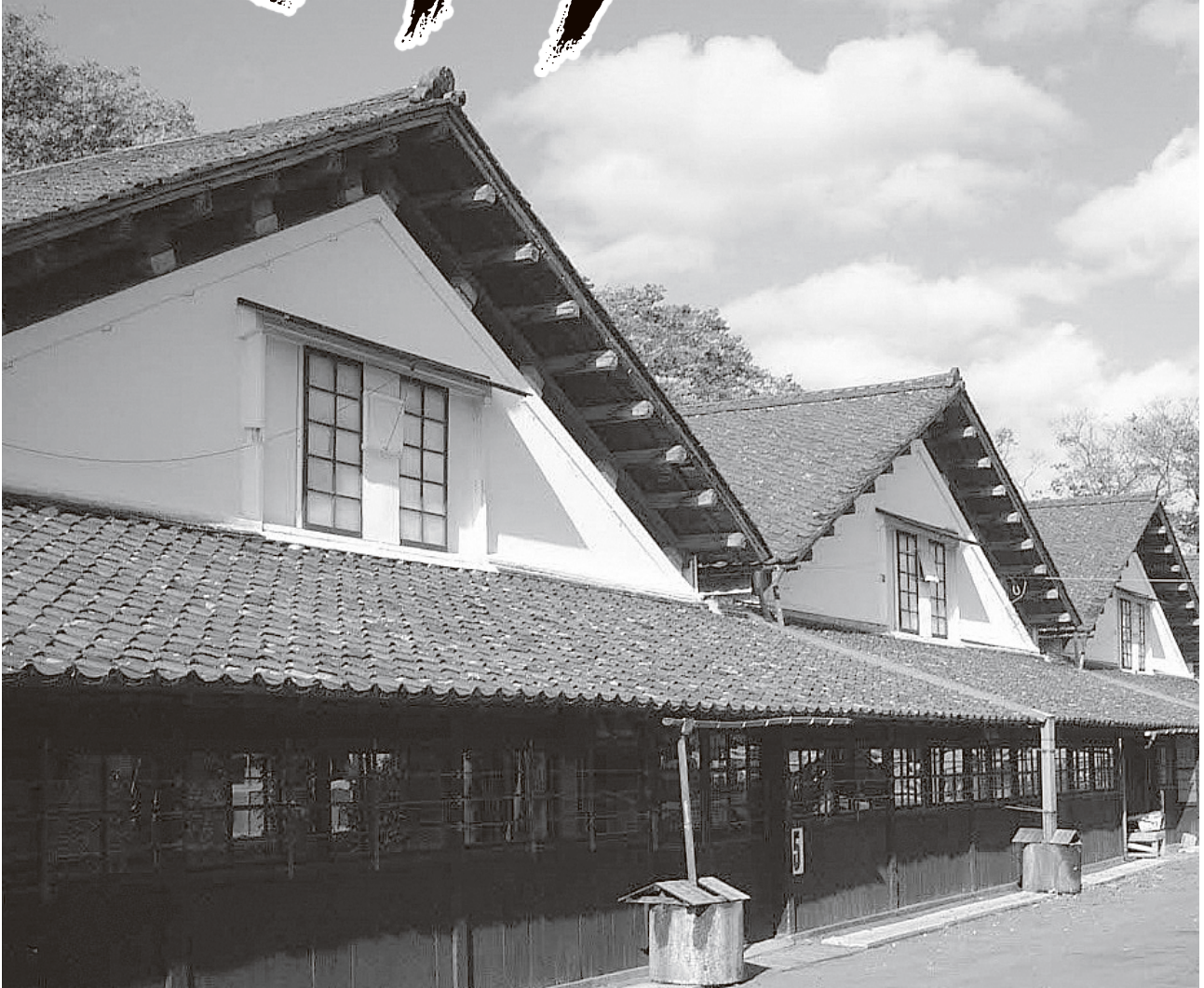


キラリ

酒田市農業委員会報 No.66



「国の史跡となった山居倉庫、129年間お疲れ様でした」

特集

米作りを基礎から学べる！酒田もっけ田農学校

～酒田もっけ田農学校取材しました～（2、3面）

キラリな女性かがやく女性農業者 教えてキラリン（4面）

若手農業者リレーエッセイかぜ（5面）

農業一筋 おしらせ（6面）

令和5年 秋季号

特集

米作りを基礎から学べる！酒田もっけ田農学校

さかた だのうがっこう

～酒田もっけ田農学校取材しました～

酒田もっけ田農学校は酒田市が(株)ファーム・フロンティアとともに担い手育成を目的に令和3年10月に開講した学校です。令和5年3月には第1期生11名が修了を迎え、今年の10月には第2期の開講を控えています。

今回は、米作りを基礎から学べる学校である酒田もっけ田農学校を紹介します。



○酒田もっけ田農学校で学べる事

酒田もっけ田農学校は米作りをメインに学べる学校です。

学校のカリキュラムは1年半を1サイクルとし、初年度は稲の一生と稲作作業等の基礎研修、次年度前期は実習と講義を合わせた実践研修、後期は応用研修としてスマート農業や受講生の自圃場評価課題抽出等を行っていきま



○酒田もっけ田農学校の特徴

その1 勘や経験だけでなく、「知識やデータに基づいた農業」を学べる！

農業にはさまざまな知識が必要となりますが、酒田もっけ田農学校の受講生は年齢や農業経験もさまざまです。どの受講生も理解できるように、用語や農作業の意味など、基礎からしっかり稲作を学べます。そして講義の際は実物を

見てもらう、触ってもらう等五感でも感じてもらう事でより理解を深めやすい仕組みになっています。

また、講義では数値(データ)を非常に大切にしております。指標として気温等の具体的な数値を用いることで、米作りに関する勘や経験が少ない状態でも理解や実践がしやすく、「知識やデータに基づいた農業」を学べる仕組みになっています。



その2 質問や相談がしやすい環境

講師から受講生へ一方通行で知識を伝えるだけの形にならないように、受講生からの質問や相談を大切にしています。質問用紙を配布し講義後分かった事や分からなかった事、質問等記入してもらい、次回の講義の際にしっかりと回答していくことで質問や相談がしやすい環境を作っています。実際に第1期生の講義を行っていた際は質問が多く寄せられ、1回の講義の

ほとんどが質問への回答となったこともあり、知識が一方通行に伝わる形になるのではなく、受講生も一緒に講義を構成する一員となっています。

その3 手厚いフォローアップ

受講生の中には他のお仕事をされている方がいます。仕事等他の都合で講義に出席できなくなってしまう方へは、講義時間や日付をずらし受講できるように対応しています。また、受講生が自分の圃場で育てた稲を持ってきてもらい、稲の状況を見て相談に対応するなど受講生に合わせてフォローアップを行っています。

修了後も研修会の開催や相談にも対応しています。そして定期的な酒田もっけ田農学校通信を発行し、第1期生への情報提供を行っています。



〇「これまでも、これからも、主役は
【たし】」



酒田もつけ田農学校講師
藤井 弘志

農業界ではまさに担い手づくりが大きな課題です。「人づくり、土づくり、米づくり」の言葉のように、人づくりが最も大事であり、その人が土を作り、米を作るのです。機械化が進み、ICTなどの最新技術が入ってきてても、人の観察力、判断力、技術力がなければ適切に使うことはできません。

先人の優れた技術を継承しつつ、新しい技術も取り入れた担い手育成としてスタートした「酒田もつけ田農学校」第1期生11名は一人も欠けることなく令和5年3月に閉講式を迎えました。その間、稲作、植物栄養、土壌学、畑作、病害虫、農業機械、農業気象、スマート農業、環境保全型農業についての基礎知識の習得に加え、先輩農家に学ぶ実学、生育診断や土壌調査などの実習を重ねました。受講

後の感想では、「イネの生態と各作業が紐付き、作業の目的や必要性を理解できた。」「初めて聞く用語が多かったが充実した講義内容で成長できた。」など修了の達成感と共にこれからの営農に活用していく意欲に満ちていました。

10月からは第2期生を迎えます。ここで学んだ人がこれからの稲作の担い手となり、庄内の米づくりの力となることが期待されます。食料安全保障の視点からも水田を維持し、米生産向上と消費拡大を目指していく必要があります。各方面の取組により農家の方々が笑顔になることを願っています。



修了生第1期生から

〇もつけ田農学校で学んだこと



もつけ田農学校では
スマート農業を活用した最先端の

農業を学ぶことが出来ました。私は祖父から農業を学んでいます。することは難しいことでした。そこでもつけ田農学校に入學し科学的なデータを用いて作業することで、これまで難しかったことが少しずつ理解していくことが出来ました。

現在、担い手不足が問題となっている中でデータや情報を用いたスマート農業は、今後の農業界にとって重要になると思うので、もつけ田農学校で学んだ技術や知識を沢山のの人に伝えていきたいです。



〇「挑戦に遅すぎる事は無い！」



バスケットボール田臥勇太選手
の座右の銘に、青天の

霹靂でした。私は就農3年目の兼業農家です。田植えや稲刈りを手伝う程度ですが、ワクワクな諸先輩方に感化され奮起した次第。

基礎知識は、「酒田もつけ田農学校」で藤井先生から土づくり・人づくりの大切さを学びました。とても有意義で近道だと実感しています。

経験不足を補う学びも、自然相手と山間部では教科書通りといかず、試行錯誤と挑戦を楽しむ日々となりました。

先人の存在と地域の良さを繋いで行きたい。仲間と家族、出逢いに感謝しながら、夢は自らの酒米とそばで皆と晩酌する事です。



キラリな女性

…かがやく女性農業者

牛の魅力にひかれて
鳥海高原デリーファーム



八幡 草津地区
鈴木 真衣

私は大学卒業後、鳥海高原デリーファームに就職し、今年で2年目になります。

小さい頃から動物が大好きで、将来は動物に関わる仕事に就きたいとずっと考えていました。大学では畜産学を中心に学んだことや、実際に北海道の酪農家さんのもとで実習した経験から、酪農の世界に足を踏み入れることにしました。私の主な仕事は、毎日決まった時間に搾乳をして、牛の健康状態をチェックすることです。

牛たちは毎日たくさんの生乳を生産するため、日々の搾乳業務は欠かせません。そして、日々の搾乳業務を通して、生乳量の違いや具合が悪そうな牛に気がつかなく

てはなりません。入社したてのときは、搾乳作業をすることに必死で牛を観察する余裕はほとんど無かったのですが、だんだん牛1頭1頭の特徴や個性を覚え、最近では少しずつ牛の体調の変化に気づけるようになってきました。

私がこの仕事に就いて良かったなどと思う点は、牛と触れ合えるところです。最近では牛たちも私のことを覚えてくれたのか、近寄ってきてくれることが増えました。今は牛が近寄ってきてくれるのを楽しみに仕事をしているくらい、牛の可愛さと人懐っこさにメロメロです。

今後の目標は、最近取得した大型特殊免許を活かして、大きい重機の操作にいち早く慣れ、ますます現場の力になれるよう頑張ることです。



農地に関するほてびを解消

教えて

キラリン



このコーナーでは、農地に関する素朴な疑問・質問に、キラリンがお答えします。

今号のテーマ

農地の相続

令和6年4月1日より相続登記申請の義務化が始まります。

Q 農地を相続することになったら何をしたらいいですか？

A 相続人が決まった場合は、土地の所有者を変更する手続きとして相続登記申請の手続きを行いますしよ。

Q 相続登記申請はどこでできるの？

A 相続登記申請はその不動産の所在地を管轄する法務局にて申請できます。

Q 令和6年4月1日より相続登記申請の義務化が始まるけど、義務化後はいつまでに登記申請を行わないといけないの？

A 相続登記申請の義務化後は、不動産の相続を知ってから3年以内に相続登記の申請を行う必要があります。

Q 令和6年4月1日以降、期限内に相続登記申請をしなかった場合罰則などはあるの？

A 正当な理由なく義務に違反した場合、10万円以下の過料の適用対象となります。

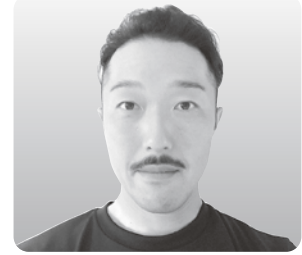
Q 農地の貸借契約期間中に地権者が亡くなり、その農地を相続することになった場合、貸借契約はどうなるの？

A 契約期間中の場合は相続人が期間を継承する形となるため、契約は継続されます。ただし期間を満了した場合は新たに契約を結ぶ必要があります。

○農地のことは
市農業委員会事務局
☎26-5767

かぜ

～若手農業者リレーエッセイ～



我が家には87歳のじいさん、86歳のばあさんがいます。毎朝5時仕事開始で田植え、畑仕事、収穫全般と一年中なんでもこなすスーパー高齢者です。大規模化に向かっていくと作業が機械化、効率化していくので細かい作業が疎かになりがちです。この疎かになった作業を二人が丁寧にしてくれます。田植えでいえば補植をすべての圃場でしてくれます。頭が上がりません。除草も完璧です。小菊の通路やねぎの周辺等うちの畑はとでもきれいです。きっと二人がいなければ草だらけになっていることでしょう。そして、小菊の出荷シーズンになると朝2時から箱詰めし4時から収穫と若者でも気が減る作業をずっと続けています。病気や手術もしています。そ

凄いじいさん、ばあさん

本楯地区 飯塚 卓矢



私も親も農業を通じてメディアや記事で注目していただく機会が増えましたが、こうした現状はじいさん、ばあさんが一生懸命下支えしてくれたからだと思えます。現在の経営規模に発展できたのも二人がいたからです。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。これからも二人と一緒に農業ができる時間を大切にしていきたいです。

それでも農業をやめる事はありません。なぜこんなにも働くのか。それは家族の為、そして、農業で体を動かす事が生きがいになっているとの事でした。責任をもって仕事をする姿勢は私の見本であり、将来、私もこうありたいと思います。

農業者年金に加入しましょう

老後の生活をしっかりサポートします。
農業に従事する方なら、広く加入いただけます。

*** 農業者年金のメリット ***

- ① 少子・高齢化時代に強い積み立て方式
- ② 保険料の額は自由に決められます
- ③ 終身年金で80歳までの保証付き
- ④ 保険料は全額社会保険料控除
- ⑤ 保険料に国庫補助も（要件があります）

食と農のビジネス塾

～一般公開講座開催のお知らせ～

HS経営コンサルティング株式会社の本田茂氏をお呼びして様々な視点から農業の経営継承について学びます。

日時：11月16日(木) 13:30～16:40
会場：シアターOZ (酒田市飛鳥字契約場35番地)
参加料：無料
お問合せ先：0234-26-5767(農業委員会)

世代を超えて 食べて守ろう 伝統野菜

～酒田の在来作物を紹介～

『平田赤ねぎ』

平田赤ねぎの食味は格別なものがあります。生ではキリッと辛く、加熱すると糖度が上がりトロリとした甘味を味わえます。すぐにやわらかくなるので、鍋物に使う場合は出来上がり直前に鍋に入れ、煮過ぎないのがおいしく食べるコツです。

ネギの成分の特徴は、独特の刺激臭と辛みを持つ硫化アリルを含み、消化液の分泌を促して食欲を増進させたり、体温を高めて血行をよくするなど効果があるとされています。



農業一筋

農業委員がおじゃまして

お聞きしました！

浜中地区

小林 藤治
敏子 ご夫妻



「兼業農家
だった時はが
むしやらに、
自分の体力だ
けで乗り切っ
ていた。」と

り話す藤治さん（79歳）、敏子さん（74歳）ご夫妻。現在の農業経営は田んぼを約3畝、畑は約1畝で就農し、33歳から60歳までは福祉施設に勤めながらの兼業農家でした。農作業については二人で田植えをしたのち、管理を敏子さんが行い、土日は藤治さんが農作業や草刈り等を行う形で27年間協力してきました。兼業していた当時を振り返ると、苦労していると思えば暇もなかったそうです。敏子さんは農協の婦人部内で代々受け継がれていたイチゴジャムの製造方

法を引継ぎ、イチゴのジャムやジュースなどを製造していました。多い時では一度に3000本のイチゴジュースの注文が来たこともあったそうです。現在は次の方へ製造方法を引継ぎ、お子さんとお孫さんに手伝ってもらいながら4人で農業をしています。

若い農業者へ伝えたい事をお伺いすると、「兼業しながらの農業は難しいので、自分がだめだと感じたらやめるべき。自分が長く続けられるように、魅力を楽しめることをしてほしい。」と過去の経験から話します。

また、農業を続ける秘訣をお伺いしたところ、「体が壊れるまでは働きすぎないこと。」と話すお二人これからも元気で活躍ください。

（高橋公基委員）



おしらせ

農地中間管理事業

令和6年から借り受け・貸し付け（経営移譲含む）したい場合は期限まで申し込んでください。

・申込期限

10月31日（火）

・申し込み

酒田市農業委員会事務局、庄内みどり農協各営農課、酒田市袖浦農協へ。

※本事業は白紙委任です。貸し付けする相手が決まっている場合は、窓口でご相談ください。

・各種変更届

すでに契約されたものの各種変更手続き（名義、住所、振込口座、借賃などの変更）も忘れずに手続きしてください。

編集後記

3年もの間、猛威を振るっていた新型コロナウイルスもようやく落ち着き、コロナ前の日常を取り戻しつつありますが、ここまで本当に長い道のりだったと思います。だからこそ、人と人の繋がりが

や、当たり前の事を当たり前にできることがなんと有難い事か、多くの方が実感しているのではないのでしょうか。かくいう私もその中の一人で、この感謝の気持ちを忘れずに持ち続けたいと思っています。このような状況の中でも「きりり」を通して酒田農業の魅力を伝えられた事はとても嬉しく、貴重な体験となりました。次号からは編集委員も新体制となり、より魅力的な情報をお伝えしてまいります。どうぞこれからも「きりり」を楽しみにしていただきください。3年間読んでいただき本当にありがとうございました。

（会報委員長 大場重樹）

